

SGH 通信

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

H30.7.19 国際シンポジウム特別号

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

平成 30 年度高知西高校 SGH 国際シンポジウム開催！



SGH 事業第 2 期生の 3 年間の集大成を発表！

7 月 11 日（水）、高知県民文化ホールオレンジホールにて、平成 30 年度高知西高校 SGH 国際シンポジウムが開催されました。今年度は、SGH 事業第 2 期生にあたる生徒の集大成となる成果発表の場となりました。さらに、昨年度から、リニューアルした内容を組み込んだプログラムとなりました。また、高知国際中学校の生徒も聴衆者に迎えて、中高生参加型のシンポジウムを開催しました。

【基調講演】

【基調講演内容】

「これからの世の中で輝くために～なぜ英語を勉強するのか～」



葛城 崇 氏

株式会社 ReDucate 代表取締役社長
兼 楽天株式会社新サービス開発
カンパニー教育事業部ジェネラル
マネージャー



国際シンポジウム最初のプログラムである「基調講演」では、葛城崇氏をお招きして、グローバル社会に貢献する人材に必要とされている資質と、英語を学ぶ意義、楽天での取り組みについて、40 分間のご講演をしていただきました。時折、生徒たちに質問を投げかけながら、お話をしていただき、生徒たちは、楽天での「社内公用語の英語化」の意義や「英語を何のために学ぶのか？」について、深く学びました。

【3 年生研究発表】

【研究発表内容】

「She Can't Say No!」(児童婚と女性器切除)

「The Water Crisis Is Coming Soon..」(水不足からは逃げられない)

「How Can We Revitalize Agriculture in Kochi?」(高知県で稼ぐ農業～34 市町村の魅力を活かすには～)

小休止を挟んで、3 年生代表 3 チームによる研究発表を行いました。プレゼンテーションはすべて英語で行い、パワーポイントの内容は、聴衆者にも分かりやすく、日本語で提示しました。聴衆者参加型の研究発表形態をどのチームも行い、聴衆者と一体になった研究発表になりました。生徒たちは、発表者の探究内容を聴いて、新たな気づきを得たようです。



今年度初の試み！タレマー校とのパネルディスカッション！

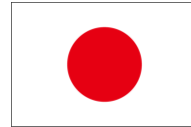
【パネルディスカッション】

【討論内容】

「地域創生を支援するためにどうやってSNSを活かせるか」

午後からは、今年度初めての試みとして、高知西高校の提携校であるタスマニアのタレマーシュタイナー校の生徒を招いて、「地域創生」をテーマにパネルディスカッションを行いました。両校の代表者は、高知県、タスマニアのそれぞれの地域の特徴を紹介した後、「両地域の経済的利益のためにはどんな産業が大事だと思うか？」や「経済活動をするにあたって都会にはない利点はあるか？」、「私たちの地域は20年後どのようになっているのか？」など、多くの地域活性化に向けてのヒントにつ

いて、英語を活用して意見交換を行いました。聴衆者にもわかるように、時折、日本語による補足説明も織り交ぜて、討論の内容を理解してもらえるように心がけました。生徒たちは、このディスカッションを通して、互いの地域が抱える課題や、その解決策について模索する良い機会になったようです。



【講評】

最後に、今回の国際シンポジウムを振り返って、鳴門教育大学の近森憲助特命教授より、ご講評をいただきました。その中で、自身の住む地域をよく知り、そこから互いの地域の共通点を見つけることから、グローバルの視点で課題を考えることが大切であること。また、分野横断的な学びの大切さについてお話をいただきました。さらに、生徒たちへのメッセージとして、“SGH事業の目的の一つは、「キーマンの育成」であると考えてるので、そのような人物に成長してほしい。”という願いを伝えてくださりました。生徒たちが、将来そういった存在になれるように、今回の国際シンポジウムをきっかけに成長してほしいと思います。



【生徒の感想】

パネルディスカッションを聴いて、高知県とタスマニアの弱みや強みが似ていることを知りました。しかし、抱えている課題には少しの違いがあり、地域の特徴の違いに気づかされました。

私は、今回の基調講演を聞いて、英語に対する考え方が変わりました。また、英語学習の意義を実感し、様々な教科に積極的に取り組む姿勢の大切さに気づきました。

国ごとに物事を考えるのではなく、地球に住む人間という感覚でグローバルな視野を持つ大切さを知った。

先輩方が英語でプレゼンテーションをする姿がとても印象的でした。私自身も、グローバル探究の授業を通して、3年生のような姿に成長したいと思った。

解決策の根拠まで調べていて問題提起が分かりやすかった。3年生のように説得力のある探究を進めたいと思った。